

コライユ			
No	表示名称	配合目的	成分説明
1	水	基剤	トリニティーセラミック透過した精製水です。
2	コメヌカ油	油剤、保湿剤	柔軟効果や保湿効果に優れた米由来の油剤です。
3	エチルヘキサン酸セチル	エモリエント剤	ベビーオイルなどに使われる肌になじみがよい植物油由来の油剤です。
4	グリセリン	保湿剤	ヤシの実などの天然油脂を由来とする成分で、肌にうるおいを与え、乾燥を防ぎます。
5	イソステアリン酸ポリグリセリル-6	エモリエント剤、 乳化剤	天然由来の乳化剤として食品にも使用されているたいへん安全性の高い界面活性剤です。うるおいを保つ働きもあります。
6	パルミチン酸エチルヘキシル	油剤	皮膚刺激なども低く安全性の高い原料です。油性感が少なくさっぱりした使用感の油剤です。
7	イソステアリン酸ポリグリセリル-10	乳化剤	天然由来の乳化剤として食品にも使用されているたいへん安全性の高い乳化剤で、うるおいを保つ働きもあります。
8	イソステアリン酸ポリグリセリル-2	乳化剤	天然由来の乳化剤として食品にも使用されているたいへん安全性の高い乳化剤で、うるおいを保つ働きもあります。
9	カミツレ花エキス	美肌成分、皮膚 コンディショニング 剤	細胞の生まれ変わりに着目した、カミツレの花由来のエイジングケア効果のある成分です。
10	ウメ果実エキス	美肌成分、皮膚 コンディショニング 剤	梅の実から抽出した成分で、肌の明るさや弾力性を高める効果があります。
11	サッカロミセス／コメヌカ発酵液エキス	美肌成分、皮膚 コンディショニング 剤	加水分解コメヌカを基質として、酵母により発酵して得られるもののエキスをろ過して得られる糖類、アミノ酸、ビタミン類を多く含んだ成分で肌を乾燥から守り、肌をみずみずしく保つ働きがあります。
12	ユキノシタエキス	美肌保湿 皮膚コンディショ ニング	ユキノシタは虎耳草(こじそう)という民間薬として使われる植物で、肌荒れやエイジングケアに有効な成分です。
13	インドナガゴショウ果実エキス	皮膚コンディショ ニング剤	ヒハツの実から抽出した成分で、血行を促進する作用があります。頭皮の血行不良で起こる薄毛や抜け毛を改善し毛育を促す効果が期待できます。
14	チャ葉エキス	皮膚コンディショ ニング剤	緑茶より抽出されたエキスで、抗菌作用や抗酸化作用などのある成分です。
15	ダイズ種子エキス	美肌成分、皮膚 コンディショニング 剤	非遺伝子組換えダイズの種子から抽出したイソフラボンを含む植物エキスで、女性ホルモン様作用を持ち、エイジングケアの効果が期待できます。
16	ハトムギ種子エキス	美肌成分、皮膚 コンディショニング 剤	ハトムギの種皮を除いた種子は「ヨクイニン」と呼ばれ、荒れ肌改善などの美肌効果が認められます。
17	アーチチョーク葉エキス	美肌成分、皮膚 コンディショニング 剤	アーティチョーク葉に含まれる機能性成分のシナロピクリンが肌老化物質の活性化を抑え、特に毛穴の目立ちに効果があります。
18	グリセリルグルコシド	高保湿水分保持	ヤシ・とうもろこしから作られる成分で極めて優れた保湿力が特長です。アクアポリン3を増やすことで角層内の水のめぐりにアプローチする成分です。角層の隅々まで水を送り届けるため12時間後には肌内部の保湿力がピークになるといったデータがあります。
19	α-グルカン	保湿、湿润剤	デンプンに酵素を作用させて得られる多分岐環状ポリサッカライドです。保湿作用を持ちます。

20	グルコシルセラミド	皮膚コンディショニング剤	コメ由来のセラミドです。細胞間脂質の主要な成分であるセラミドを肌に補充することにより、保湿作用が期待できます。
21	ヤエヤマアオキ果汁	美肌保湿 皮膚コンディショニング	ノニ由来の成分で、肌のバリア機能を正常化させることで肌荒れの改善が期待できます。
22	ケイ酸Na	指定原料、 pH調整剤	無水和物は無色斜方晶系の結晶。融点1088℃。水に容易に溶解、水溶液は加水分解して強いアルカリ性を示す。水溶液からはNa ₂ SiO ₃ の各種の水和物が得られます。
23	ケイ酸Ca	指定原料、 pH調整剤	酸化Caと二酸化ケイ素、水が結合した組成物で、ケイ酸塩の一種です。吸水性、吸油性をもち、食品をはじめ様々な分野で使用される成分です。
24	酸化チタン	指定原料	イルメナイト鉱を原料として、酸処理後、抽出などを行い製造される白色顔料です。皮膜力、着色力に優れ、紫外線遮断作用は微粒子化でより高くなり、サンスクリーン剤の主役であります。皮膚に対し収斂性がなく、生理的に不活性です。酸化チタンは重要な原料として多用されていますが、更に物性を向上させるために表面をケイ酸や酸化アルミニウムなどで処理したものが使用されています。白色顔料としてクリーム、乳液、メイクアップ製品に広く使用され、紫外線遮断剤として日焼け止めクリームに使用されています。
25	サンゴ末	研磨、スクラブ剤	海洋ミネラルを豊富に保有し、多孔質による吸着作用をもつ化石サンゴパウダーです。
26	乳酸	安定剤	自然界に広くに存在する有機酸で酸度調整による安定化目的で使用される成分です。
27	ヒドロキシアパタイト	指定原料	リン酸カルシウム的一种です。アパタイトは燐灰石。水酸化カルシウムとリン酸を反応させて作られます。骨や歯の主要成分です。増量剤、粉体、粉体改質剤、分離精製剤として使われます。製品の厚みを出すために配合します。
28	シルク	指定原料	18種類のアミノ酸で構成されたタンパク質からなります。人間の肌もタンパク質で出来ており、人の肌に一番近い天然繊維です。
29	シリカ	指定原料	水の浄化作用や遠赤外線効果があるとされる天然鉱石(黒曜石)の微粉末です。
30	レパゲルマニウム	指定原料	一部の植物にも含まれるゲルマニウムの一種で金属と非金属の中間的な物質で、肌を整える作用が期待できます。
31	シクロデキストリン	指定原料	約1世紀前に発見された特異な包接機能により注目されました。シクロデキストリン生成酵素でデンプンを分解して得られる環状デキストリンで、白色の結晶または結晶性の粉末で無臭です。環状構造をしているため、その分子空洞内に香料や油性の成分など種々の物質を取り込む性質があります。揮発性物質の安定化、酸化、光分解性物質の保護、水不溶性物質の乳化などの物性改善効果を示します。分子カプセルとしての応用研究がされており、今後の応用製品が期待されます。
32	セラミドNG	保湿、皮膚コンディショニング	ヒト皮膚・毛髪に存在するセラミドと同じ構造。皮膚バリア機能の強化、保湿作用、ごく少量の濃度でも十分な保湿効果が確認されています。
33	セラミドNP	保湿、皮膚コンディショニング	酵母から得られたセラミド3 ヒト皮膚に存在するセラミドと同じ構造。皮膚バリア機能の強化、保湿作用、髪のぱさつき・傷みを改善します。
34	セラミドAP	保湿、皮膚コンディショニング	酵母から得られたセラミド6 ヒト皮膚・毛髪に存在するセラミドと同じ構造。皮膚バリア機能の強化、落屑促進によるしわを改善します。
35	ミリスチン酸ポリグリセリル-10	可溶剤	天然の脂肪酸由来の可溶剤でなめらかさやうるおいを与える働きもあります。

36	ステアロイルグルタミン酸Na	乳化剤	アミノ酸のひとつのグルタミン酸と脂肪酸からなる洗浄性や起泡性を持たない乳化剤です。電解物を含む乳化物の安定性を高めます。
37	プルラン	感触改良剤、保湿剤	黒酵母菌を用い、発酵法でつくる水溶性多糖類で保湿性に優れています。
38	プロパンジオール	保湿剤、感触改良剤、溶剤	トウモロコシ由来のエコサート認証原料です。保湿機能のほか、抗菌特性を持った溶剤として使用されます。
39	カプリルヒドロキサム酸	キレート剤	広い抗菌スペクトル性のある天然由来のキレート剤です。
40	オリザノール	皮膚コンディショニング剤	化粧品に配合可能な医薬品成分。米ぬかや米胚芽油から抽出された米油に含まれる天然の栄養成分、ポリフェノール成分です。(皮膚の老化防止、皮膚の血液循環促進)
41	テトラヘキシルデカン酸アスコルビル	皮膚コンディショニング剤、酸化防止剤	肌に取り込まれやすい油溶性のビタミンC誘導体で、肌弾力の改善などの美容効果に優れた成分です。
42	アラリアエスクレンタエキス	美肌成分、皮膚コンディショニング剤	ケラチノサイトの増殖を促し、ヒアルロン酸の生成促進に加え、線維芽細胞を活性化し、コラーゲン線維も生成促進する。酸化ストレスによるダメージから保護します。
43	トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル	エモリエント剤	滑り性のよい、軽い感覚の油性原料でエモリエント性に優れています。
44	ベヘニルアルコール	乳化安定剤	ナタネ油由来で、エマルジョンの熱安定性を向上する安定剤です。
45	ペンタステアリン酸ポリグリセリル-10	エモリエント剤、乳化剤	植物由来の脂肪酸とグリセリンによる乳化剤です。(セラミドの混合原料の一つ)
46	ステアロイルラクチレートNa	乳化剤	植物由来の脂肪酸と乳酸の混合物をナトリウム塩で中和反応させてできる安定性の高い乳化剤です。(セラミドの混合原料の一つ)
47	フィトスフィンゴシン	皮膚コンディショニング	細胞増殖分化をコントロールする細胞間脂質の一つ。柔軟効果があり、また、水分の蒸発を防ぐ効果に優れています。
48	BG	保湿剤	肌にうるおいを与え、乾燥を防ぎます。グリセリンよりもさっぱりした使用感をもたらします。
49	香料	着香剤	ラベンダー系の香りです。